

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年11月25日

和泉市長 あて

団体名 和泉ここあり

代表者名 芦田三雄

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	助け合い担い手養成講座
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	80,700 円 (うち、対象経費 80,700 円)
支援金 交付申請額	53,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミ ココアリ		
団体名	和泉ここあり		
団体の目的	地域住民同士が助け合い、誰もが住み馴れた地域で豊に暮らし続けられる地域社会づくりを目指し、担い手同士が想いを実現する為に出資し、働き、経営をする協同労働を軸に行う事を目的とする		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	アシダ ミツオ		
代表者氏名	芦田三雄		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電 話
	フリガナ		()
	同上		F A X
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	2020年 7月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 () 回発行) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	会員数	33人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	助け合い講座 講座受講生・卒業生へのサポート 介護保険制度等も含めた公的サービスと併せ持ったサービス（困り事110番等）を提供する		
主な活動の実績	2021年度「助け合い担い手講座」を実施3回開催で30名の受講生を予定している（2回で20名の受講生があった） 2021年度オアシス助成金で「労協法で新しい働き方3週連続講座」を行い、32名の受講生があった。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	2021	和泉市市民活動推進支援金	74,000.-
	2021	オアシス助成金	79,550.-

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	助け合い担い手養成講座
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース □ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 少子高齢化が進む現在、住み慣れた地域で豊かに暮らす為に、住民相互の助け合い（共助）が必要です。 私達は、担い手となる人達を広く募り、其々の地域の課題を見出し、その解決をどうしたらいいのかを一緒になって考え、共感する者同士が具体的に活動出来るまでの指導とその活動のサポートを行います。	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 担い手の方々が其々の地域の課題解決の為にグループが出来る事。 その後グループが協同労働という経営の仕方を実践する。 地域の色々な福祉団体（地域包括センター、CSW、校区社会福祉協議会、ボランティア会など）と協力体制が出来る様にする。 その様な結果、各地域の活動が育つ。 2021年度2回開催時では、上記福祉団体が特別参加されたり、Web会議（特に市外の団体の活動の紹介）に参加して頂いたり、大きな成果が得られた。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 助け合い担い手講座を NPO ワークスコープの関西支部の組織や人材の協力を得て開催する事。 1クール（4回 8時間）の参加費800円とする。和泉シティプラザにて行う。 3クール実施し、約30名を育てる。（市内全域）	
②実施期間（日時）	1クール目： 7月頃 （参考）2021年度6月21日～7月26日 2クール目： 10月頃 （参考）2021年度9月27日～11月1日 3クール目： 2月頃 （参考）2021年度2月頃予定
③実施場所	和泉シティプラザ 研修室 （参考）2021年度はアイ・あいロビー利用
④主な対象者	和泉市民
⑤参加予定者数	10名×3クール 30名 （参考）2021年度 2クール終了し、20名参加
⑥告知方法	広報、チラシ、地域包括センター、社協校区長会議、校区社協協議の場、ボランティア会の方々へ呼び掛ける

5 事業スケジュール	
時期 1クール目 7月～ 2クール目 10月～ 3クール目 2月～	1クール ①開講式―「支え合いの町づくりについて」「和泉での助け合いのしくみづくり」 ②「和泉で活躍している仲間より活動の紹介」 ③「助け合いってステキだなあ」―全国の仲間とWEB交流 ④修了式 ～みんなで意見交換～「私たちにできること」
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	和泉市はトカイナカと言われ、都会的要素と田舎的要素が混在しており、都会的要素所でも、40年から50年の大きな団地があります。高齢化社会には多くの課題があり、その問題解決を担う手は必要不可欠である。地域課題の解決を担う人達を育てていくことは、住民同士が助け合う社会の実現につながると考えている。
②継続性	助け合い担い手講座を受講された方が、各自の地域課題に向かって活動をしていくため、事業の成果は広がっていく。 補助金以外の収入源といたしまして、講座への参加費や自主財源がある。
③実行性	事業を実施するにあたり、NPO ワーカーズコープの関西支部や「しらさぎ夢テラス（地域コミュニティ施設）」の協力、第4圏区の地域包括センターの協力がある。助け合いに関するノウハウを持った方が講師として来てくださるため、教える体制は整っている。 主な支出は講師代と会場費（市の施設）であり、講座を行うには必要な費用である。
④協働性	③にあるような団体や、第4圏区・第3圏区の関係する福祉団体とも協力体制を持つ。 講座終了後、参加者が各自の地域課題に向かって活動をしていくため、相互連携を促進するきっかけとなる。
⑤公開性	広報やチラシ、SNS等で公募するが、併せて、社協、校区社協、ボランティア会、民生児童委員会を通じて募集する。
⑥発展性 (先駆性・展開性) (集客性)	最初は第4圏区、第3圏区を中心に行うが、徐々に範囲を広げていきたいと考えている。支援を求めている人たちの力になれる人材を育て、参加者が各自の地域課題に向かって活動していくことで、住民同士助け合う社会の実現につながっていく。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 助け合い担い手講座

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	53,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	24,000	講座参加費 1クール800円/人
自主財源	3,700	
合 計	80,700	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	36,000	講師謝礼 12回×3,000円
使用料	28,200	12回×2,350円和泉シティプラザ 研修室借上料
消耗品費	7,000	コピー用紙、インク代、消毒剤等
印刷製本費	9,500	チラシ3回（A4片面カラー300枚） ×1,500円、コピー代
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	80,700	
対象経費	80,700	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。